

年 組 名前：

南ア・櫛形中 伝統 絶やさない



全校合唱で「ハレルヤ」を披露する生徒 南アルプス・櫛形中

全校合唱 3年ぶり復活

南アルプス・櫛形中（下田直人校長）は16日、学園祭「紫雲祭」で「全校合唱『ハレルヤ』を3年ぶりに披露した。1989年から始まった全校合唱だが、新型コロナウイルス感染予防の観点から2年間に中止されていた。同校は「伝統を絶やさない」と検討を重ね、実現にこぎつけた。

学校によると、生徒が学園祭でハレルヤを披露したのは2019年度が最後。20年4月に入学した現3年生はコロナ禍で、ハレルヤのみならず合唱自体の活動が制限される

状況でここまで過こしてき。春から始まった練習も、本来は上級生のリードで進むが、在校生のほとんどがハレルヤを聞いたことがない状態のため、給食の時間に音源を聞いて音取りをすることなどからスタートしたという。

全体練習は2回のみだったが、本番はマスクを装着しながら、心を一つに力強い歌声を体育館に響かせた。

生徒会長の中島穂乃花さんは「全校合唱だからこそ創り出せる一人一人の思いが詰まった合唱だった。入学以来、行事の中止など我慢することの多い日々だったが、歌いながら、やっと全校が一つになったと感じ、うれしかった」と感無量の表情を見せた。

3年生の保護者にとっては学園祭で子どもが合唱する姿を見るのは最初で最後。横小路友規さんの父、俊彦さんは「迫力があって素晴らしかった。制限が多く思い出もなかなかつくりづらい中で、良い思い出になったのではないかと話していた。」

（2022年9月18日付 山梨日日新聞 20面）

問1 櫛形中の学園祭で、3年ぶりに全校合唱した曲名を教えてください。

.....

問2 春から始まった練習は、どのような方法で行いましたか。

.....

問3 生徒会長の中島さんは、全校合唱を終えて、どのような感想を述べましたか。

.....

.....

.....